

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

# 令和3年度 MISA 新入社員研修（募集のご案内）

※申込受付開始 令和2年12月15日10時～

今般、協会主催にて新入社員研修を開催いたします。

システムエンジニアに必携の基盤技術の基礎を習得し、業務アプリケーション開発演習を通じて新入社員の開発実装力の養成と技術思考スキルの向上を図るとともに、社会人として必要な基本動作、各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の習得を通じ、新入社員の総合的な実務基礎力の養成と社会人意識の定着を図ります。

令和3年度は、昨年度改訂のカリキュラムをよりブラッシュアップしております。また、新型コロナウイルス感染症対策として、「②システム開発技術者育成」を完全オンライン形式での実施といたします。

新卒者に限らず、第二新卒・中途採用の方もご参加いただけます。ぜひ、この機会にご活用ください。

## 記

- 主 催：**一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
- 対 象：**令和3年度採用の新入社員
  - ・新卒者に限らず、第二新卒・中途採用の方もご参加いただけます。
  - ・MISA 会員・非会員、出身学部、プログラミング経験等は問いません。
- 研修期間：**令和3年4月5日（月）～6月24日（木） 計55日間 各日9:30～17:30
  - ・例年と開始日が異なりますので、ご注意ください。
  - ・日程の詳細、内容は別紙カリキュラムをご参照ください。
  - ・コース単位の一部参加をご希望の場合は、ご相談ください。
- 受講料（55日間、1人あたり）：**
  - MISA 会員企業（正会員・賛助会員・特別会員） 605,000 円
  - 会員外企業 726,000 円
  - ・いずれも、消費税・資料代を含みます。
  - ・コース単位の一部参加をご希望の場合は、ご相談ください。

### <参考>一部参加の場合のコース区分

コース区分	日程	会員企業 受講料(税込)	会員外企業 受講料(税込)
①ビジネス基盤養成	4/5(月)～4/14(水) 8日間	88,000 円	105,600 円
②システム開発技術者育成	4/15(木)～6/3(木) 32日間	352,000 円	422,400 円
③業務システム開発プロジェクト演習	6/4(金)～6/24(木) 15日間	165,000 円	198,000 円

- 定 員：**50名

## 6. 実施方式：

感染症拡大の状況等により、変更となる場合がございます。

### ①ビジネス基盤養成

集合形式。新型コロナウイルス感染症対策を実施します。

### ②システム開発技術者育成

完全オンライン形式。ZOOM（カメラ必須）と Slack、GoogleDrive 等の使用を予定しています。受講にあたっては、ネット回線や PC を各社でご準備くださいますようお願いいたします。機器要件等は別紙 2 および別紙 3 を参照してください。

### ③業務システム開発プロジェクト演習

集合形式を基本とし、希望者は ZOOM での参加も可能です。

## 7. 集合研修会場（予定）：

仙台市中小企業活性化センター セミナールーム（仙台市青葉区中央 1-3-1 AER6 階）

## 8. 申込方法および募集期間：

下記受付期間に、別紙申込書を MISA 事務局までメールまたは FAX でお送りください。

**申込受付期間：令和 2 年 12 月 15 日（火）10 時 ～ 令和 3 年 1 月 20 日（水）17 時**

※上記期間外に送付いただいた申込書は無効とさせていただきます。

※全日程受講者を優先して受付し、定員に達した場合は早期に締め切ります。

※締切日の時点で定員に空きがある場合、2 次募集（2 月中を予定）を行う場合があります。

## 9. お問い合わせ先：

### ◆研修内容に関すること；

（公財）仙台市産業振興事業団 及川 （人財委員会 新人研修担当）

TEL； 022-724-1125 e-mail； itsuishin@siip.city.sendai.jp

### ◆申込、受講料に関すること；

MISA 事務局

TEL； 022-217-3023 FAX；022-217-3055 e-mail； misa@misa.or.jp

## [添付別紙]

別紙 1： MISA 新入社員研修の基本体系

別紙 4： 新入社員研修申込書

別紙 2： MISA 新入社員研修・カリキュラム

別紙 5： フォローアップ研修内容 【参考】

別紙 3： 申込にあたっての留意事項

### 「人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金)」など助成金活用をご検討ください！

※ MISA 新入社員研修は、宮城県の認定職業訓練です。

※ 活用にあたっては、各社で事前に直接、各都道府県の労働局へ照会・ご相談をお願いします。

### ◆ 人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金)について（厚生労働省 Web ページ）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

# MISA新入社員研修の基本体系

## <育成人材像> MISA 企業の中核となり、将来を担うシステムエンジニアの育成

### ① コミュニケーション

コミュニケーション力を発揮しながら、課題解決へ向けた具体的な行動の取れる人材  
(プレゼン、論理思考、情報活用)

### ② システム化思考力 (業務応用力)

システムの構想から開発までのプロセスを理解し、顧客目線も交えてシステム化思考できる人材  
(SE業務プロセスの実体験、品質、納期など)

### ③ 技術の本質的理解

プログラムの動作原理 (ロジック) を理解しシステム開発において応用できる人材  
(アルゴリズム、DB、MVC モデル)

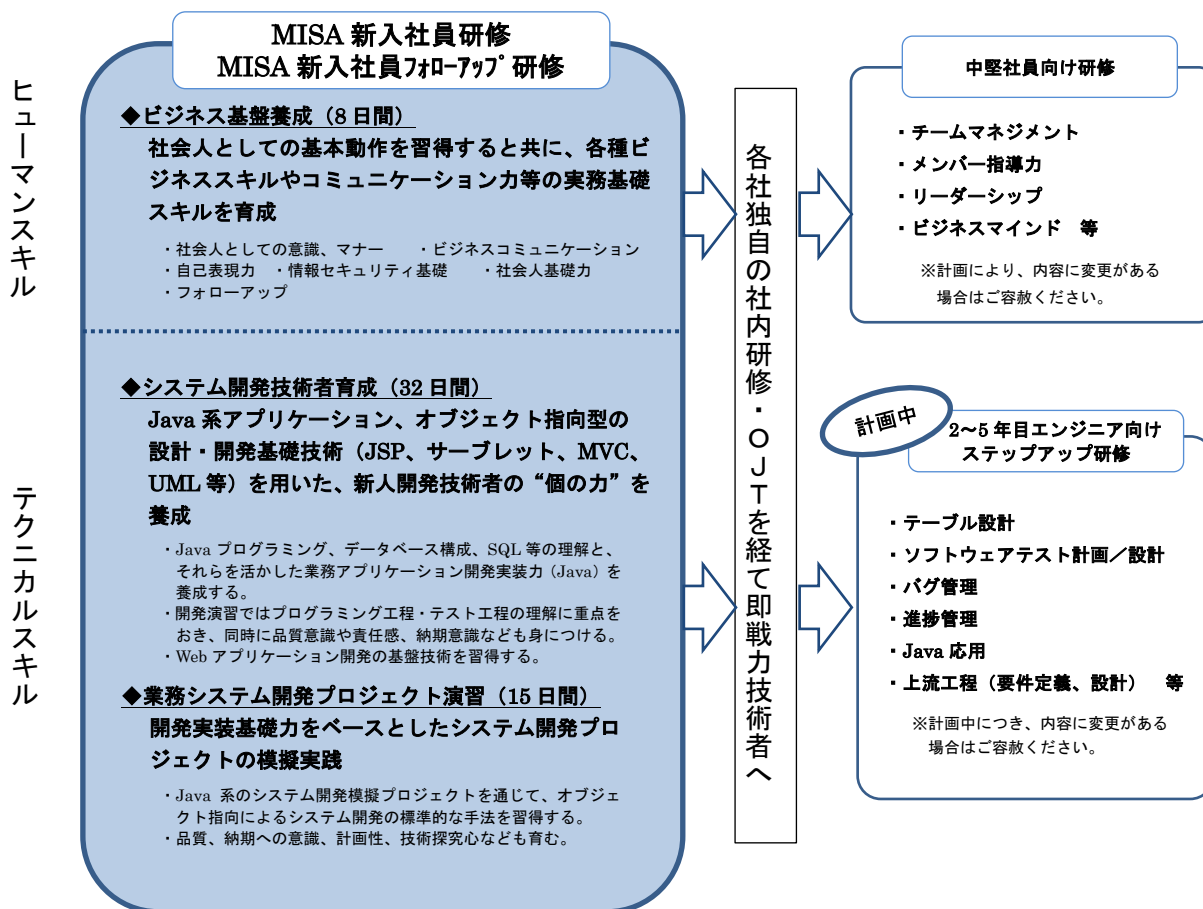
### ④ 自発性・意欲

自らの仕事の意味をしっかりと理解し、自発的に勉強し、考え、活躍しようとする人材  
(自学の習慣づけ、技術を自ら追求する癖)

## <研修体系イメージ>

1 年目 (新入社員)

2 年目以降 (若手～中堅社員)



## 令和3年度 MISA 新入社員研修 カリキュラム

① ビジネス基盤養成 (8日間) 4/5 (月) ~ 4/14 (水) 各日 9:30~17:30

<b>コースの目的・狙い：</b>
社会人としての基本動作を習得すると共に、MISA 訓練ならではの特色であるビジネスの実践の場で要求される各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の実務基礎スキルを育成します。
<b>対象・前提条件：</b>
令和3年度の新入社員 (新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む)
<b>育成・到達目標：</b>
1. ビジネスマナーの基本動作ができる。 (挨拶、言葉遣い、接客・電話応対、身だしなみ、名刺交換等) 2. 組織で働く上での基本動作ができる。 (ビジネス文書作成、報連相、効率性/正確性、PDCA、情報セキュリティ等) 3. 協調性・柔軟性を持った組織内・外コミュニケーションが実践できる。 (チームワーク形成、ミーティング、職場の人間関係形成、接遇等) 4. 主体性・積極性を持った応用コミュニケーションが実践できる。 (論理思考、プレゼンテーション、積極的傾聴等) 5. ビジネスコミュニケーション力を駆使し、実際の現場で即戦力となるビジネス活動ができる。

## カリキュラム：

科目・日程	概要	講師
<b>開講式</b> 4/5(月) 9:20~	開講挨拶、及びオリエンテーション	
<b>ビジネスマナー&amp;コミュニケーション</b> (3日間) 4/5(月) ~ 4/7(水)	<b>ビジネスマナー、コミュニケーション基礎</b> ・社会人必須の各種マナーをはじめ、指示の受け方、報告の仕方、言葉遣い、接客・電話応対、接遇など現場で必須となる基本行動・コミュニケーション力について、社会人としての意識や人間関係・信頼関係の構築も交えて学習。 ・ロールプレイング等を中心とした内容により、着実な定着と職場での実践につなげる。	キャリアトーク 志伯 暁子 (仙台市)
<b>ビジネスコミュニケーション&amp;プレゼンテーション</b> (2日間) Aクラス; 4/8(木) ~ 4/9(金) ※ <b>プレゼン実習</b> 4/9(金) Bクラス; 4/13(火) ~ 4/14(水) ※ <b>プレゼン実習</b> 4/14(水)	<b>ビジネスコミュニケーション</b> ・仕事の進み方とその中でのコミュニケーションの役割や重要性を学び、必要となる顧客対応力 (ヒアリング、e-mail、コンプライアンスなど) に関する応用的なコミュニケーション力を養う。 <b>論理思考、プレゼンテーション</b> ・ロジカルな思考力の鍛錬や相手に説明するためのシナリオ構成の仕方、プレゼンテーションのスキルについて学習。	マネジメントテクノ ロジーズ,LLC 尾田 友志 (東京都)

<b>情報セキュリティ基礎</b> (1日間) Aクラス・Bクラスともに 4/12(月)	<b>情報セキュリティ基礎</b> ・一般的な業務に潜む情報セキュリティ上のリスク(情報の保管、記憶媒体の管理、e-mailの利用、個人情報保護など)を想定し、その対策について学習。	ホライズンコンサルティンググループ(株) 庄司 和弘 (仙台市)
<b>ヒューマンスキル&amp;ビジネス文書作成</b> (2日間) Aクラス; 4/13(火)～4/14(水) Bクラス; 4/8(木)～4/9(金)	<b>仕事とチームワーク、ビジネス文書</b> ・仕事への取組意識、対人折衝、チームワークなど社会人必須のヒューマンスキルに関して、グループでの演習を交えながら実践的に学習。 ・社内外で必要となる文書作成の基本から、議事録・報告書の作成など文書作成を幅広く学習。	ホライズンコンサルティンググループ(株) 庄司 和弘 (仙台市)

- ※ 4/5～4/7 および 4/12 は 1 クラスにて実施、4/8～9、13～14 は 2 クラスに分割して実施します。
- ※ 所属クラスは原則として企業単位で配分させていただきます。
- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。
- ※ 集合形式を予定していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により、実施方法を変更する場合がございます。

② システム開発技術者育成（32日間） 4/15（木）～6/3（木） 各日 9：30～17：30

メイン講師：（株）JC-21 教育センター 教育部 課長 山田 洋（仙台市）

サブ講師：（株）ダベンポート 代表取締役 渡邊 義之（仙台市） ほか

<b>コースの目的・狙い：</b>
アプリケーション開発に不可欠な情報処理の基礎技術と開発実装力を養います。Java によるプログラミング力の育成とデータベース構成や SQL、サーバサイド技術の基礎を理解するとともに、MVC モデルを用いた業務アプリケーションの開発演習を通じ、開発現場における実務的な留意点や品質意識、納期意識なども同時に学びながら、実装・テストのスキルについて理解を深めます。開発演習は個人・少人数チームで行い、参加者個々が着実に開発実装力を高めることを狙いとしています。
<b>対象・前提条件：</b>
プログラマやシステム開発技術者に必要な IT 基礎知識や開発実装力の育成をしたい企業の、令和 3 年度の新社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）。 事前のプログラミング経験の有無は問いません。
<b>育成・到達目標：</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プログラミングに必要な論理的思考力を習得する。</li> <li>2. Java の言語仕様、プログラムの基本原理を理解し、実装できる。</li> <li>3. 業務系システムの必須技術であるデータベースの基本技術を理解し実装できる。</li> <li>4. Web アプリケーション開発に必要な実践技術（JSP、サーブレット、MVC モデル等）を理解する。</li> <li>5. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。</li> </ol>

カリキュラム：

科目・日程	概要
システム開発プロセス と開発基礎知識 4/15(木)～4/16(金) (2日間)	・IT 技術者に求められる資質のほか、システム開発における各工程（要求分析、要件定義、設計、コーディング、テスト、納品）の概要と留意点を学習する。
Java プログラミング① ／コンピュータ基礎、アルゴリズム 4/19(月)～4/21(水) (3日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング言語に触れながら、コンピュータシステム基礎および周辺知識、アルゴリズム基礎を学習する。</li> <li>・Java の特徴やデータ型、基本構文（条件分岐、繰り返し、演算子）を学習する。</li> </ul>
Java プログラミング② ／配列、UML 4/22(木)～4/30(金) (6日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を実現するための Java 構文、クラスやメソッド、オブジェクトを学習し、プログラミング基礎力の定着を図る。</li> <li>・思考の整頓・発展、および他者への統一的表現の手段として UML を理解する。</li> <li>・クラスの継承や多態性、カプセル化などオブジェクト指向の概念に触れながら、Java 言語の理解を深める。</li> </ul>
オブジェクト指向 Java プログラミング 5/6(木)～5/7(金) (2日間)	・業務アプリケーション開発を見据え、例外処理、ポリモフィズム、抽象化などの Java 構文を学習する。

<b>ソフトウェアテスト技法</b> 5/10(月) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムやソフトウェアの開発プロセスにおけるテストの位置づけを理解し、品質の重要性を理解する。</li> <li>・品質を保証するためのテストケースを作成するための基本技法を学習する。</li> </ul>
<b>業務アプリケーションプログラミング演習①</b> 5/11(火)～5/17(月) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Java アプリケーション開発演習を行い、実装力を育成する。</li> <li>・講師提示の課題（設計書）に基づき、プログラミング工程とテスト工程の演習を通して、業務アプリケーション開発について理解を深める。</li> </ul>
<b>RDB 入門と SQL 言語</b> 5/18(火)～5/21(金) (4日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースシステムの概要、SQL 言語を学習。</li> <li>・データベースの構造や ER 図による整合性のあるデータベース設計、SQL を使ったデータベース操作などを学習し、業務アプリケーション開発の基盤を形成する。</li> </ul>
<b>業務アプリケーションプログラミング演習②</b> 5/24(月)～5/25(火) (2日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「業務アプリケーションプログラミング演習①」で作成したアプリケーションを、MVC モデルに基づきファイル操作を RDB に変えることで永続性を加える。</li> </ul>
<b>サーバサイドプログラミング</b> 5/26(水)～6/1(火) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信プロトコル、HTML や HTTP といった関連技術の要点とともに JSP/Servlet を学習し、Web アプリケーション開発力を支える基盤技術として吸収する。</li> <li>・動的 Web ページ作成に必要な JavaScript について、基本構文、オブジェクト、DOM 操作を中心に学習する。</li> <li>・MVC モデル設計について学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。</li> </ul>
<b>業務アプリケーションプログラミング演習③</b> 6/2(水)～6/3(木) (2日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「業務アプリケーションプログラミング演習」①および②で作成したアプリケーションにおいて、MVC モデルに基づき View および Controller をそれぞれ HTML、JSP、Servlet に変換し、アプリケーションを完成させる。</li> </ul>

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。

※ 講義演習中に小テスト等を行い、受講者の理解度等をこまめに把握しながら進行します。

※ ZOOM によるオンライン形式で実施します。受講者は、参加にあたっては、下記要件を満たす受講環境をご用意くださいますようお願いいたします。受講場所は会社・自宅を問いません。

<受講要件（機器仕様等）>

- ・ZOOM および Slack を終日安定して使用できるインターネット回線
- ・PC スペック： Windows10 (64bit)、RAM 4 GB 以上、ストレージ 100GB 以上、管理者権限（各種インストールや環境変数の変更を行うため）、.bat ファイルを実行できること
- ・使用予定ツール：

ZOOM（カメラ必須）、Slack、Terapad、JDK、Eclipse、MySQL、Tomcat、GoogleDrive、GoogleForm（小テスト解答用途を予定）、7zip（解凍用途）

※ JDK、Eclipse、MySQL、Tomcat は講師指示により研修中にインストールします。

※ 序盤はバッチファイル・コマンドプロンプトを使用します。

※ GoogleWorkspace（G Suite）をご契約中の企業様は、MISA が用意した GoogleDrive にファイルをアップロードできるようご調整をお願いします。

**業務システム開発プロジェクト演習（15日間）6/4（金）～6/24（木） 各日 9：30～17：30**

**メイン講師：**（株）JC-21 教育センター 教育部 課長 山田 洋（仙台市）  
**サブ講師：**（株）ダベンポート 代表取締役 渡邊 義之（仙台市） ほか

**コースの目的・狙い：**

オブジェクト指向を用いたシステム開発の設計・実装力を養成します。全コースまでに習得した Java、SQL、サーバサイド技術、MVC モデルの概念等の要素技術の定着を中心としながら、PBL（Project Based Learning）による Java 系 Web システム開発模擬演習を通して、システムの設計から実装、テストまで一連の開発工程に対する理解を深めます。  
 開発演習では、IT 企業の要望の高いコミュニケーション力やチームワーク、主体性、計画力、実行力、要求の分析やユーザ視点など、開発現場で要求される人間力も同時に養うことができます。

**対象・前提条件：**

開発工程一連の理解と、設計・実装力の育成を重視する企業の、令和 3 年度の新入社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）。  
 （「②システム開発技術者育成」相当のスキルがあることを前提としています。同コース未受講の方でも参加できますが、その場合は Java プログラミング、JDBC、データベース、サーバサイド技術等について事前に社内教育等で習得していることが参加条件となります。）

**育成・到達目標：**

1. Java 系の模擬 IT システム開発プロジェクトの実践を通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法や流れを理解する。
2. 与えられた要件定義書を基に、必要な機能の分析を行い、設計、コーディング、テストを実践する。
3. 定期的に要件の確認、レビューを行い、SE として必要な基本動作・コミュニケーション能力を実践できる。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

**カリキュラム：**

<p><b>業務システム開発プロジェクト演習</b>          6/4(金)～6/24(木)          (15日間)</p> <p>※参観：中間レビュー          最終プレゼン（予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Java 系業務システムを題材に、講師提示の課題（要件定義書）に基づき、チームにて設計、開発、テストまでの Web アプリケーション開発プロジェクトの流れを実践する。</li> <li>・他社参加者との混合チームを編成し、顧客・上司の役割を兼ねる講師の指導を受けながら、開発プロジェクト遂行の疑似体験を通じて開発総合力を演習主体で養成する。</li> </ul>
<p><b>修了式</b> 6/24(木) 17：30～ 修了挨拶、及び修了証配布</p>	

- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。
- ※ プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。
- ※ 集合形式を予定していますが、希望企業には Zoom による遠隔受講を認めます。ただし、遠隔受講にあたっての必要機材やインターネット回線等（「システム開発技術者育成」に準じます）は各社でご用意いただきます。また、感染症拡大の状況等により、全員オンライン形式に変更する場合があります。



## その他、補足情報

### 【受講者交流会の開催について】

感染症拡大防止の観点から、受講者交流会は行いません。

### 【企業関係者の参観について①】

「ビジネス基盤養成」におけるプレゼンテーション実習では、受講者各々がテーマに沿ったプレゼンを行い、講師の指導を受ける様子をご参観いただけます。

#### 「ビジネス基盤養成」プレゼンテーション実習

日時； Aクラス：4/9（金）、Bクラス：4/14（水）それぞれ午後を予定  
会場； 仙台市中小企業活性化センター内

- ・当実習の参観は任意です。
- ・時間は午後半日を想定していますが、4/2 頃に詳しいスケジュール、プレゼンテーマ、参観案内を各企業ご担当者様へお知らせいたします。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、規模を縮小、または中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

### 【企業関係者の参観について②】

「業務システム開発プロジェクト演習」では、設計のレビューおよび最終日の成果発表会を企業関係者の参観機会として予定しております。

詳細は後日お知らせいたします。

## 令和3年度 MISA 新入社員研修 申込に当たっての留意事項

※ 重要・申込の前に必ずお読みください ※

### ① 申込受付期間

申込受付期間は令和2年12月15日(火)10時～令和3年1月20日(水)17時です。この前後での受付はできかねます。なお、定員に達した場合は早期に締め切ります。受講者が確定しない場合など、受講人数枠での申込みをご希望される場合はMISA事務局に別途ご相談ください。

### ② 参加対象

新卒者のほか、第二新卒や中途採用の方もご参加いただけますが、研修に専念できるような社内調整をお願いいたします。業務都合(会社行事等を除く)による欠席は他の受講者の迷惑になる場合がございますので極力避けてください。

### ③ コース区分ごとの受講を希望される場合

原則として全日程受講での受付となりますが、コース単位の一部参加をご希望の場合は、MISA事務局にご相談ください。なお、コース区分は「募集のご案内」および「別紙2：新入社員研修カリキュラム」をご参照ください。

### ④ 受講料のお支払い

受講確定後、MISA事務局より請求書と受講案内をお送りいたしますので、指定期日までに振込をお願いいたします。請求書発行後のキャンセルは一切できませんので予めご了承下さい。

### ⑤ 事前スキル調査

受講者の属性や技術経験等に関する事前アンケートを2～3月に実施します。アンケートフォーマットは原則メールにてお申込窓口ご担当者様へお送りいたします。調査の結果は研修運営やグループ分け等の参考にしますので、指定の期日までにご提出ください。事情により期日に間に合わない場合はご相談ください。

### ⑥ 修了要件について

本研修の修了要件はコース毎に出席率80%以上となります。

### ⑦ 別紙5：「新入社員フォローアップ研修」について(事前調査)

参加を予定される場合は申込用紙に「○」を記入してください(受講義務は発生しません)。本募集の際、定員を超える申込みがあった際に優先的に参加できます。

### ⑧ 「システム開発技術者育成」オンライン開催について

「システム開発技術者育成」は、新型コロナウイルス感染症予防のため、以下の要領でオンライン形式で実施します。お手数をおかけいたしますが、効果的な研修実施のため、機器の準備などご協力をお願いいたします。

(裏面へつづく)

## <オンライン開催にあたっての注意点・お願い>

### 1. ご用意いただくもの

- PC (ひとり1台。Webカメラ必須)・ヘッドセット等、受講に必要な機材。
- Zoom がスムーズに使用できる、安定したインターネット回線。

### 2. PCスペック (後日、申込企業へ詳細をお知らせいたします)

- Windows10 (64bit)、RAM 4GB 以上、ストレージ 100GB 以上。管理者権限。環境変数の設定変更、.bat ファイルを実行できること。
- 以下のツールを使用できるよう、社内調整等お願いします。
  - ① 事前に準備いただくもの：ZOOM (チャット除く)、Slack、Office ソフト、GoogleDrive、GoogleForm、7zip、Terapad
  - ② 講師の指示でインストール・設定するもの：JDK、Eclipse、MySQL、Tomcat  
(パソコン環境を出来る限り汚さぬようサーバ等はインストーラを使用しない予定ですが、演習に使用するパソコンには管理者ユーザでログインします。)
- 各サービス、ツール等のアカウントは、無料のものでかまいません。
- 序盤～中盤はバッチファイル・コマンドプロンプトを使用します。
- GoogleWorkspace (G Suite) をご契約中の企業様は、**MISA が用意する GoogleDrive にファイルをアップロードできるよう**ご調整をお願いします。

### 3. 受講場所

- 自社・自宅など、指定はございません。
- 自社会議室などに集まって受講される場合でも、各人が ZOOM 接続してください。

### 4. ZOOM

- 画面共有 (講師・受講者双方) のほか、ブレイクアウトセッションを使用します。
- 研修の質を高めるため、カメラは必須といたします。(休憩時、一時離席時を除く)
- チャット機能は使用しません。文字コミュニケーションは Slack を使用します。

### 5. Slack の用途

- 事前および当日講義中の連絡、研修資料データの配布
- 演習中の受講者間コミュニケーション、ファイル共有 など

### 6. 申込後の Slack 登録

- 技術系コース開始までに、Slack ワークスペースへの招待 URL を窓口ご担当者様あてにメール送信しますので、受講者様へ展開をお願いします。
- 受講者様各自で、Slack への参加登録を行ってください。  
→その際、認証に「受信可能なメールアドレス」が必要です。
- アドレスは会社/個人を問いません。なお、Slack 上ではアドレスは非公開です。

(以上)

宮城県情報サービス産業協会 事務局 御中  
 Fax: 022-217-3055 E-mail: misa@misa.or.jp

## 「MISA 新入社員研修」申込書

※申込受付開始 令和2年12月15日10時～

貴社名			
貴社住所	(〒 )		
申込担当者名		所属・役職	
TEL		E-mail	

参加者欄			
	参加者氏名	(フリガナ)	フォローアップ研修 (事前調査、 ○記入)
1			
2			
3			
4			
5			
特記事項 (一部のみ参加の要望など)			
【アンケート】 助成金の利用を予定している場合は助成金名をお知らせください。		(例: 人材開発支援助成金「認定実習併用職業訓練」)	

### 【一部参加の場合のコース区分】

	コース区分	日程
①	ビジネス基盤養成	2021年4月5日～4月14日
②	システム開発技術者育成	2021年4月15日～6月3日
③	業務システム開発プロジェクト演習	2021年6月4日～6月24日

### 【事前調査コース】

コース	コース名	日程
	新入社員フォローアップ研修	2021年8月31日～9月1日(予定)

※「フォローアップ研修」の欄は事前調査を目的としています。現時点で受講を予定される場合に「○」を入力していただければ、正式募集時に定員超過となった場合に優先的に参加できます。本調査の回答による受講義務は発生しません。後日行う正式募集時に申込書を提出いただくことで、正式受付といたします。

※研修運営に必要な連絡は原則メールで行いますので、担当者メールアドレスは必ずご記入ください。

※5名以上の申込の際は本用紙を複写してご利用ください。

※受講者の個人情報に関してはMISA事務局での保管となり、MISAの個人情報保護規定に基づき運用いたします。目的外使用は致しません。



[別紙5:参考]

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会  
新入社員フォローアップ研修内容（参考）

◆研修目的：

令和3年度採用の新入社員を対象に、新入社員研修とその後の実務、あるいはOJT／社内教育を踏まえてフォローアップを行い、会社からの期待に応えられる人材になるための主体的な実行力や自己成長力の向上とプロ意識の確立、対人能力やビジネス思考力のアップを図ります。

また、入社から数ヶ月程の期間が過ぎた中で、同世代の異なる企業の受講者間での交流を深め、刺激を享受し、社外人的ネットワークの形成、今後の成長の糧となることも目的としております。

◆受講対象者：

令和3年度採用の新入社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）

※業種、所属部門等は問いません。

※MISA新入社員研修の受講有無や、MISA会員・非会員は問いません。

◆日時：

2021年8月31日（火）～9月1日（水）（2日間） 9：30～17：00

◆会場：

仙台市中小企業活性化センター（AER6F）セミナールーム ※予定

◆受講料：

MISA会員：22,000円／非会員：27,500円（いずれも税、資料代込み）

◆定員：

40名（20名×2クラス体制を予定）

◆お申込：

後日、一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

新人研修申込時の事前調査欄に「○」を入力した方は優先的に受け付けます

（裏面につづく）

◆予定カリキュラム（全て演習中心）：

研 修 名	内 容
<p><b>1.ビジネスマナー&amp;コミュニケーション応用</b></p> <p>Aクラス 8月31日(火) Bクラス 9月1日(水) 9:30~17:00(6.5時間)</p>	<p><b>ビジネスマナーの振り返りと応用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、名刺交換、敬語、立ち振る舞い、言葉づかいや表現の仕方、電話応対など（ロールプレイング中心）</li> </ul> <p><b>ビジネスの現場でのコミュニケーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの電話応対、真・報連相、相手に合わせて効果的に伝えるスキル、相手を動かす話のまとめ方、スピーチ術、自己理解・他者理解 など（ロールプレイング中心）</li> </ul>
<p><b>2.ビジネススキル&amp;社会人基礎力</b></p> <p>Aクラス 9月1日(水) Bクラス 8月31日(火) 9:30~17:00(6.5時間)</p>	<p><b>周りからの期待に応えるための必要スキルと社会人基礎力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実力ビジネスパーソンに期待される能力</li> <li>・現状の社会人基礎力の自己検証と評価、今後の行動目標設定</li> <li>・主体的キャリア形成と自己能力開発ポイント</li> <li>・自己管理の手法 など</li> </ul>

※研修の進捗や受講予定者の状況等により内容や時間配分等を予告なく変更する場合があります。

※新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、受講者交流会は開催しない予定です。

<講師>（※4月実施のMISA新人研修「ビジネス基盤養成」の講師が担当）

1. 志伯 暁子 氏（キャリアトーク 代表/仙台市）
2. 庄司 和弘 氏（ホライズンコンサルティンググループ(株) 代表取締役/仙台市）